



4年目の放課後教室

早くも4年目を迎えることになりました。1年生6名が新たに加わり、総勢49名の利用児童数となります。「安全なところであること」「楽しいところ」「知恵を生み出すところ」そんなことを考えています。学校の学習とは違うものの、学校教育の「補育」的な場所でありたいと考えています。

相和の子どもたちが、より良い方向に育てられるように、みなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

子どもと遊び



ブルックスの庭園の散歩、そこに行く途中の菜の花、そして学校のコブシの花。春の息吹の心地よさを感じます。

この自然の中で過ごしていると、人間も、その一部だと感じる瞬間があります。子どもは、すぐに感じているのでしょう。

百花繚乱・春・はる



子ども同士の関係の中で 互いが育っていく

低学年の子どもが、「一緒にトランポリンをやってくれなかった」とすねて泣いていました。すると、すかさず上学年の男の子が声をかけ、一緒に遊び始めました。すねていた子も、笑顔がこぼれています。

この声をかけた男の子も、1年生の時には、同じようなことがありました。その子が、全く立場を逆にして接している。そこに成長を感じるとともに、改めて子ども同士の関係の中で大きな学びがあるのだと思います。

同学年の中で子どもは社会性となる学びを、そして異学年の中で優しさを、様々な場で学んでいきます。それがずうっと息づいているのも、相和ならではの光景だと感じます。

すてきな姿だと思って見ていました。

おねがい

4/19のPTA総会で、子どもを学校で待たせる予定の方は、放課後教室への申し込みをお願いします。

恐竜出現!?

え? 何? 恐竜? ウソ?

不思議な光景ですね。ブルックスの庭園にある枝を伐採された楠の幹が、まるで恐竜の頭のように見える場所があります。

ちょうど子どもたちが遊んでいるところをのぞきにきたかのようなアングルの写真ですね。

